

会 議 録

会議名	第1回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会		
開催日	令和5年7月21日（金）	場 所	駅前庁舎8階 防災室・会議室
時 間	午後2時00分～午後4時00分		
出席者	委員：北野幸樹委員、土田寛委員、山崎誠子委員、吉武美由紀委員、青木健委員、 中原まどか委員、中村悌己委員、萩本亜矢委員、石井宏典委員、秋元淳委員 事務局：企画部 品川次長 地域政策室 鈴木室長、鵜田係長、鈴木主任主事 株式会社日建設計 田中氏、渡辺氏 （木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）策定支援業務受託者）		
議 題	1 事業経過報告 2 事業計画（吾妻公園）について 3 吾妻公園整備の検討方針について		
公開・非公開の別	議題1～3 公開		
傍聴者数	4人		
配付資料	○会議次第 ○木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会委員名簿 ○附属機関設置条例（抜粋） ○資料1 事業経過報告 ○資料2 事業計画（吾妻公園）について ○資料3 吾妻公園整備の検討方針について ○令和5年度スケジュール		
会議概要	別紙のとおり		

【会議の概要】

○事務局（鵜田係長）

本日はお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日の会議は公開で行わせていただきます。

また記録のため、録音、写真撮影をさせていただきますので、ご了承ください。

会議の傍聴を希望される方がおりますので、ここで傍聴人の方に入ってください。

【傍聴人入場】

それではただいまより、第1回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を開催いたします。

本日、司会進行を務めさせていただきます企画部地域政策室の鵜田でございます。よろしくお願いいたします。

まず初めに、渡辺市長より、皆様に委嘱状を交付させていただきます。自席にてお受け取りいただきたいと思いますので、お名前を申し上げましたら、恐れ入りますがその場でご起立をお願いいたします。

【市長より委嘱状交付】

○事務局（鵜田係長）

続きまして、渡辺市長よりご挨拶を申し上げます。

○渡辺市長

皆さんこんにちは。

本日は大変お忙しい中、第1回目の木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。また、委員にご就任いただいた皆様には、快くお引き受けいただきましたことを重ねて御礼申し上げます。

本市ではご存知の通り、木更津市基本構想の中でまちの活力を牽引する拠点づくりの一つとして、みなとまち木更津再生プロジェクトというものを掲げさせていただきながら、駅周辺地区、内港地区、築地地区を中心とした、にぎわいや活力に満ちたみなとまち木更津の再生を目指しているところでございます。この取り組みを加速するとともに、災害に強いまちづくりの実現のための施設整備を目指し、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想、基本計画を策定したところでございます。今後はこの基本構想及び基本計画に基づきまして、それぞれの重点地区における整備方針を具体化しながら事業を推進して参りたいと考えているところでございます。

そのような中で本日の会議では、まちづくり実施計画（吾妻公園）について諮問をさせていただきます。この実施計画では、まちづくり基本構想、基本計画からさらに一步踏み込みまして、吾妻公園整備における課題や条件などを整理し、文化芸術施設のより具体的な施設構成や規模、概算事業費などを示すものでございます。

委員の皆様におかれましては、それぞれの見地から忌憚のないご意見、ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（鵜田係長）

それでは続きまして、本委員会の趣旨に関しましてご説明をさせていただきます。

その後、委員長、副委員長の選任に入りたいと思います。

○事務局（鈴木室長）

それでは私から本委員会の趣旨についてご説明申し上げます。お手元の配布資料、附属機関設置

条例（抜粋）をご覧ください。

本委員会は、地方自治法第138条の4第3項の規定により設置される審議会等の機関となり、趣旨など詳細については、附属機関設置条例で定めております。

まず、第1条に目的が記されております。

市長の権限に属する事務を処理するため、必要な事項を定めることを目的とされております。

続いて、第4条第1項に、会長または委員長及び副会長または副委員長は委員の互選によってこれを定めるとなっております。

第2項に、会長は当該附属機関の事務を総理し、当該附属機関を代表する。

第3項は、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または会長の欠けたときはその職務を代理することとなっております。

続いて、第5条第1項に、委員は市長が任命または委嘱する。

第2項に、委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

続いて、第6条、会議について。

第1項に、附属機関の会議は必要に応じて会長が招集し、会長が会議の議長となる。

第2項に、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

第3項に、会議の議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところとなる。

なお、本日は10名の委員全員の出席をいただいておりますので、本委員会は成立をしております。

続いて、第7条、この条例で定めるもののほか、附属機関の議事及び運営に関し必要な事項は会長が定めることとなっております。

また、次ページの別表に、組織名や担任する事務が記載されております。

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会は、木更津飛行場周辺まちづくり実施計画の策定について調査審議することとなっております。任期は1年となります。

最後に、委員会の公開についてでございますが、当委員会につきましては、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例における「審議会等」にあたりますので、会議は原則公開となります。

○事務局（鵜田係長）

ただ今、ご説明させていただきましたとおり、附属機関設置条例第6条第1項に「委員長が会議の議長となる」と定められております。

現在、委員長が決まっておりませんので、委員長が決まるまでの間、議事進行につきましては、石井企画部長に、仮議長をお願いしたいと存じます。石井企画部長、よろしくお願いいたします。

【石井企画部長 議長席へ】

○石井企画部長

委員長が決まるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

本委員会の委員長及び副委員長は、附属機関設置条例第4条第1項の規定により、委員の互選により定めるとされております。委員の皆様にお諮りいたしますが、委員会の委員長、副委員長についてはいかがでございましょうか。

特に意見がないようでございますので、事務局に一任してよろしいでしょうか。

よろしければ挙手をお願いいたします。

【委員挙手】

それでは、全員賛成でございますので、事務局による委員長副委員長の選出のご提案をさせていただきます。

それでは事務局お願いいたします。

○事務局（鈴木室長）

それでは、委員長副委員長の選出についてでございますが、委員長につきましては、北野幸樹委員をご提案いたします。北野委員におかれましては、日本大学生産工学部建築工学科の教授であられ、建築計画、地域主体のまちづくり活動などを専門とされております。

また、副委員長につきましては、土田寛委員をご提案するものでございます。土田委員におかれましては、東京電機大学未来科学部建築学科の教授であられ、都市計画、都市デザインなどを専門とされております。

○石井企画部長

ただいま事務局から委員長に北野幸樹委員、副委員長に土田寛委員とのご提案がございましたが、皆様いかがでしょうか。

【委員から「異議なし」の声あり】

異議なしとのお声をいただきましたので、委員長は北野幸樹委員に、副委員長は土田寛委員にお願いしたいと存じます。

それでは、以降の議事進行につきましては、北野委員長にお願いいたしまして、私は席を移らせていただきます。

○事務局（鵜田係長）

北野委員長、議長席へお進みください。

【北野委員長 議長席へ移動】

それでは、ここで渡辺市長より、北野委員長に諮問を行います。

○渡辺市長

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）について（諮問）。

木更津市附属機関設置条例第3条の規定に基づき、木更津飛行場周辺まちづくり実施計画に関する事項について、理由書、資料を添えて諮問します。

なお、答申につきましては、令和6年3月までに取りまとめいただきますようお願い申し上げます。

【渡辺市長 諮問書を委員長に手交】

【諮問書（写）を委員全員に配布】

○事務局（鵜田係長）

諮問内容につきまして、補足説明をさせていただきます。事務局お願いいたします。

○事務局（鈴木室長）

それでは、諮問につきまして、ご説明させていただきます。

令和4年度に策定した木更津飛行場周辺まちづくり基本構想・基本計画では、「みなとまち木更津の再生」に向けた取り組みを加速するとともに、市民が安心安全に暮らせる「災害に強いまちづくりの実現」のための施設整備等を目指しております。

その実現に向けて、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想・基本計画で掲げた基本理念、必要な機能や規模などについて具体化し、吾妻公園整備の指針となる木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）を策定することが不可欠と考えます。

つきましては、吾妻公園整備にあたっての課題や条件を整理するとともに、施設計画や事業手法

等を確認し、基本設計の指針とする木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（吾妻公園）について、貴検討委員会のご提言をいただきたく諮問を行うものであります。

○事務局（鵜田係長）

それではこの後議事に移りますが、市長は他の公務により、ここで退席させていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

【市長退席】

では北野委員長お願いいたします。

○北野委員長

改めまして、委員会の議長を務めさせていただきます。委員の皆様にご協力を賜りまして、深い議論ができるように進めさせていただきたいと思っております。

この場で美しい、そしてやさしい木更津の未来が皆さんと一緒に描かれたいと思っておりますので、どうぞお力添えいただければと思います。

それでは本日の議題は3件となっており、事務局の説明に対し、質疑を行うという形で進めさせていただきます。

それでは議題1、「事業経過報告」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局（鈴木室長）

それでは私から議題1、「事業経過報告」について及び、議題2、「まちづくり実施計画（吾妻公園）」について」は関連がございますので、一括してご説明させていただき、その後、質疑等をお受けしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【「資料1 事業経過報告」、「資料2 まちづくり実施計画（吾妻公園）」について」を説明】

○北野委員長

議題1、「事業経過報告」及び、議題2、「まちづくり実施計画（吾妻公園）」について」の説明がありました。ご意見ご質問などございますでしょうか。

○山崎委員

資料7ページの概算事業費を計算した時期はいつでしょうか。工事費は最近ものすごく上がってきています。

○事務局（鵜田係長）

昨年度の基本計画を策定する段階で算出をいたしましたので、令和4年度時点での金額になっております。

○中村委員

資料3ページの防衛省まちづくり支援事業で、航空機の騒音問題という話がありましたが、これは吾妻公園の方で考えるべきことになるのか、それとももっと広く金田地区までの範囲を通しての騒音問題なのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

防衛省まちづくり支援事業という事業自体が、航空機騒音問題への対応策の一つとして実施しているものになっております。吾妻公園に関しましても、基地のそばにあるということもございまして、昨年度住民説明会をさせていただく中でも騒音問題に関するご意見多数いただいております。

これから実施計画、設計と進む中で、騒音問題に関しましてもきちんとした対応策を考えていき

たいと思っております。

○石井委員

木更津飛行場周辺まちづくり基本構想、基本計画の中で資料５ページの全体図が作られてきたと思いますが、これが決定の図面ではなく、これをどうしていくかというのをみんなで考えていこうということによろしいでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

５ページの図面は基本計画を策定する中で、まずはこの配置が考えられるだろうということでお示しをさせていただいております。

ただ、今回このような委員会を設置させていただきましたので、この中でさらに詳しい検討や様々なご意見を賜ればと考えております。

○萩本委員

資料３ページですが、防衛省からの補助金があるということで、防衛省側からの意向や守って欲しいルールみたいなものはありますか。

○事務局（鵜田係長）

特に細かいルールというものはございませんが、まちづくり支援事業自体が、防衛施設の存在や地域の特性を踏まえたまちづくりをするために補助するという制度でございます。吾妻公園が基地のそばにあるということもございますので、自衛隊との交流というところも含めて今後詳細に検討を進めていこうと考えております。

○中原委員

文化芸術施設は市で管理するのか、外部に委託するのか、方向性はもう決まっているのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

管理運営に関しましては協議中であり、今後、教育委員会も含めて方向性を検討していきたいと考えております。

○中村委員

図書館については新しく建設するというので、現在、文京地区にある図書館はどうなるのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

今の図書館が吾妻公園に移ってくるという位置付けになっております。

○北野委員長

それでは議題１、２については、ここまでとさせていただきまして、議題３、「吾妻公園整備の検討方針について」、事務局より説明をお願いします。

○事務局（鈴木室長）

議題３につきましては、株式会社日建設計よりご説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

【株式会社日建設計より「資料３ 吾妻公園整備の検討方針について」を説明】

○北野委員長

議題３．「吾妻公園整備の検討方針について」の説明がありましたが、ご意見ご質問などございますでしょうか。

○山崎委員

現状、交通公園はどれくらいの頻度で使われているのでしょうか。現地を見たところ、今日から夏休みなので子供もいなく閑散としていましたが、普段どういう使われ方をしているのでしょうか。

また、南側の市道から内港や公園まで抜ける道で赤い区画線が敷地から削れている部分がありますが、どうしてここが削れているのでしょうか。

それと、防風林と書いてあるこの敷地西側の緑地の部分の所有者や管理者は市なのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

１点目の交通公園の利用に関しましては、主な利用形態は交通安全教室や自転車の乗り方教室で、市内の小学校の児童さんがここにきて利用されている状況となっております。

２点目の公園南西部の敷地境界ですが、もともとここに昔の護岸の跡がございまして、その関係もありこの部分は敷地から削れてまた、緑地ではなくてアスファルトの舗装部分が今少し広がっております。

３点目の公園西側の緑地については、千葉県の管轄になっております。

○山崎委員

交通公園はあまり使われていないのでしょうか。学校で来るぐらいで普段使いという感じではないのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

日常的にご利用いただけるようになっておりますが、主には学校の交通安全教室に使われているというようなところで。

○中原委員

交通公園のことなのですが、実際、今私が行っている学校で、毎年３年生が交通安全教室として、年間行事に組み込まれたような状況で使用させていただいています。

○秋元委員

資料１４ページの地図のバス停は、今走っているバス路線の発着ということでよろしかったでしょうか。実際に吾妻公園が整備されてくると、かなり短い間隔でバスの発着とか必要になってくるのかなと思うのですが、現時点で何か考えていることはありますか。

○事務局（鵜田係長）

公園の北側部分に航空隊前という既存バス停があります。それ以外には、イオンタウン株式会社が運行しております巡回バスのルートが吾妻公園まで延伸することについても検討を進めているところでございます。

○秋元委員

そういうものは道路のところに止めればおそらくイベントごとに渋滞になる懸念がありますが、ロータリーの中に入れるなどのお考えがあるのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

現状、公園に進入するには公園北側と南側の交差点から入るしかない状況になっております。これから吾妻公園を整備していくなかで、利用が増えるということも見込まれますので、公園中央部分の交差点に右折レーンを作り、そこから公園の中の駐車場に入り、車をまわしていくというよ

うな必要もあるかなと思っております。

先ほどの株式会社イオンタウンのバスルート延伸について、こういった形でここを回るかというところは、今後、協議してまいりたいと考えております。

○北野委員長

いずれにしても、新たな駐車場の整備等々でバスルートも含めて検討していくという認識でよろしいでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

おっしゃる通りでございます。

○石井委員

この施設は災害時に指定避難所、支援物資の集積場所ということになると思います。先ほど津波が1 mから3 mの地域だということをお伺いしたのですが、そこに対する対応策について改めてご説明をお願いします。

○事務局（鵜田係長）

津波の浸水深といたしまして防災ハザードマップ上は1 m以上3 m未満というような地域になっております。現在、文化芸術施設や大屋根広場の下を盛土いたしまして、津波等があっても安全な施設にしていきたいと考えております。

○中村委員

現在、防風林として植樹されている木が多いと思うのですが、今後、公園整備した時にはまた植樹するという考えでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

防風林としての機能も果たしておりますし、せっかく緑豊かな公園になっておりますので、再整備に当たりましては、可能な限り既存の樹木は活かしていきたいと考えております。

○萩原委員

市民に愛されるシンボルとなる場というところで、建物ができてから何月何日にオープンしますと告知するのではなく、作っていくプロセスなども市民の方に見ていただく方が、愛着が湧くのではないかなと思うのですが、広報といった面で何か活動は予定されていますか。

また今日いただいた資料の内容についてどの程度私たちが外に出していいのか、教えていただけますでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

おっしゃるように、作っていくプロセスについても大事なことだと思っております。今回の委員会の内容も含め、事業の進捗について、ホームページ等を通じて市民の方々には公表していきたいと考えております。

本日お配りさせていただいた資料は公開の資料でございますので、持ち帰っていただきまして、ご覧いただきながら折を見てご意見等いただければと思っております。

○山崎委員

北側にある吾妻保育園が基本計画の図では道路を挟んで駐車場に向きあったような状態になっています。公園内の施設を利用したり、小さい子供の出入りがあると思いますが、道路に車がたくさん来るようなこと等で保育園とお話とかされてはいますか。

○事務局（鵜田係長）

吾妻公園の整備にあたり、保育園と直接お話したことはまだございません。

○山崎委員

今後の計画にあたり、色々配慮されたほうが良いかと思います。

○土田副委員長

資料15ページで、パークベイプロジェクトにおける公園の位置付けというのが「ウェルネス、健康・運動」になっていますが、同時に基本構想段階での方針では「文化芸術活動等機能を中心とした世代間交流の拠点となる施設づくり」になっており、ランドスケープ的なものから箱ものの的になっているようにみえてしまうのが懸念している点です。やはりランドスケープというのは自然系、ないしは都市機能として展開しようとするものでありますので、市民感覚の広場・公園というものに対するイメージと、文化芸術施設の移設整備のハイブリッドのようなイメージをきちんと説明してもいいかと思います。

また、ホール、図書館、公民館がどこにあって、ここに集まってくるということに関する説明の手順も必要になろうかと思います。

最後に、アーバンデザインというのは、管理者や利用者別の空間領域をどうやって曖昧にさせながらエリア全体を共有していくかということが重要でもあるので、まちづくりや空間デザインとしての奥行きを出すためにも、道沿いからの見え方やサインなどについても意識しておくという計画になるのではと思います。

○北野委員長

未来に続くまち、愛着を育むまち、市民が集って欲しいまちをつくるうえでの一つがたまたま公園であり、ホールであり、図書館であり、公民館であるわけです。それらが複合化することでよりよくなるのですよというのを丁寧に説明すべきだと思います。

サイン計画の話もありましたが、木更津市さんが今、色々な計画を進めているなかで、やはり吾妻公園のサインじゃなくて木更津市だからというサインを作っていくべきだと思います。

同じく、市の都市公園であるということを考えていくと、市民の方々はおそらく自ら大切な思いをいっぱい抱き、その施設を大事に使うと思いますので、そういう俯瞰的なまちづくりの視点から公共施設や都市公園はこうなのだという提案を、この委員会で導いていくような議論ができることとても楽しいのではないかなと思っています。

また、山崎先生がおっしゃいました交通公園がどういう使われ方するのだろうかということも含めて、交通安全教室でしか使わないということではなくて、例えば駐車場としての使い方だったり、必ずしも一つの機能に対して、一対一の関係ではなく一対多の答えがあってもいいのではないかなと思います。

そういった視点で未来を描いていくと、このプロジェクトがもしかすると先駆的で木更津すごいねというプロジェクトになるのではないかなというふうに思っています。

○中村委員

吾妻公園に図書館ができる話というのは、市民の間でも話題にする機会があります。そのなかで聞こえてくるのは、いまの文京地区にある図書館は街中にあり利用しやすいけど、吾妻公園に移設されると歩いていけないとか、交通手段をどうするかなどです。地図的にも駅を挟んだ位置が真反対であり、心理的にも距離は遠く感じるでしょうし、そういった点をどうやって埋めていくのかというのは、この委員会でちゃんと検討していく必要があるかと思います。

また、コンセプトである文化芸術、防災、ウェルネスといったキーワードだけ並べていっても、すでに盛沢山で消化しきれないという印象があります。精査の仕方や優先順位についても考えていく必要があるかと思います。

実際、自分自身も吾妻公園は小学校の1度使った交通公園というイメージしかなく、普段は使わない公園なので、どうやって市民に愛されていくかということに愛着持って計画を立てていけたらいいなと思います。

○北野委員長

今いろいろとご意見をいただいている中で、何をここで検討していくのかということの整理をしたいと思います。

最初に防災の観点からいうと、盛土の説明があったと思います。想定浸水深が3 m未満ということで、その避難場所的な都市公園の役割をもたせることももちろん大事ですが、加えて、この広い公園を文化芸術施設の拠点として作り上げていくときに、災害時の安全性の担保と、実際に盛土をする際の施設との関係性ということも含めて、再検討する必要があるかなというふうに思います。

先ほども言いましたけど、大屋根があるからそこは雨の影響がない広場だというような一対一の関係ではなく、大屋根広場が各施設とどう関係するのか、眺望の問題にどう影響するのかなど、もう一度、内部空間および外部空間からの連続性も含めて、一対多の関係をつくり出すような検討していく必要があるかなと思います。

それとともに、交通公園についても、小学生や園児の教育に関しては当然ながら必要なところですが、それが単に年に数回の利用ですということだけではなくて、公園全体に対してどういう役割を担うのか、市としてどう使って欲しいのかということも含めて、また利用される方にも意見を求めながら、改めて位置づけを考えていく必要があろうかと思います。

もう一つは、文化芸術施設について、基本計画の案でいくと公園の真ん中に配置されていましたが、資料14ページにも眺望の黄色い線が書かれているように、木更津は元々は港町ですので、我々のように建築を作る立場からすると、その景観として建築が外からどう見えるのか、逆に敷地の施設の中に立ったときに、眺望として海や富士山がどう見えるのかということも含めて、検討をしておく必要があると思います。

また園内で現在立派に残っている樹木が施設と一緒に道路側からどのように見えるのかとか、さらには3 mの盛土というのは実際結構な高さになるわけですが、県道東側の住宅地からはどういう風に見えるのかなど、そういった視点でこの会議の場では議論する必要があるかと思っています。

そうすると、土田委員が先ほどおっしゃっていましたように、この敷地内だけでは完結しません。もちろん実際に整備するのは敷地内なのですが、資料4ページのまちづくり基本構想・基本計画の範囲全体を俯瞰しながら吾妻公園プロジェクトの答えを出していくという姿勢がとても大事かと思っています。

こういうプロジェクトを成功するには取り組む人の熱量がまず大事で、使う人見る人はその熱量を肌で感じるのですね。それがプロジェクトを成功させるとしても大事な要素だと思います。そのためには皆さんの熱い思いやつぶやきを、この場でたくさん発していただけると良いのではないかなと思います。

○土田副委員長

交通公園に関連して、資料5ページの全体図で、敷地全体4万㎡のうち、駐車場をいれるとおそらく1.5～2万㎡ぐらいがアスファルト舗装みたいな空間になってしまいます。少子高齢化などで、今後、アクセシビリティの質が変わってくることは近い将来も見えていますし、交通公園とあわせて駐車場についても検討を織り込んでおいていただきたいです。

○北野委員長

今回、第1回目ということで、委員の皆様は色々な思いが湧いてきていると思いますので、それを大事にいただき、第2回目以降の委員会で新しい未来を描けるようなプロジェクトになることを願いたいと思います。

以上で三つの議題、すべて終了とさせていただきます。

○事務局（鵜田係長）

北野委員長ありがとうございました。委員の皆様におかれましても、長時間のご質疑ありがとうございました。

その他といたしまして、今後のスケジュールについてご説明をさせていただきます。

2回目の委員会ですが、9月4日10時から開催させていただきたいと考えております。3回目が10月上旬、住民説明会を挟みまして4回目が10月下旬、その後パブリックコメントを行いまして5回目を2月上旬に開催する予定としております。

なお、あくまでも現時点での予定ということですので、詳細な日程につきましては、確定次第改めてお知らせをさせていただきたいと考えております。この点に関し、何かご質問等ございますでしょうか。

無いようでしたら以上をもちまして、第1回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

上記会議録を証するため下記署名する。

令和5年8月17日

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会委員長 北野 幸樹